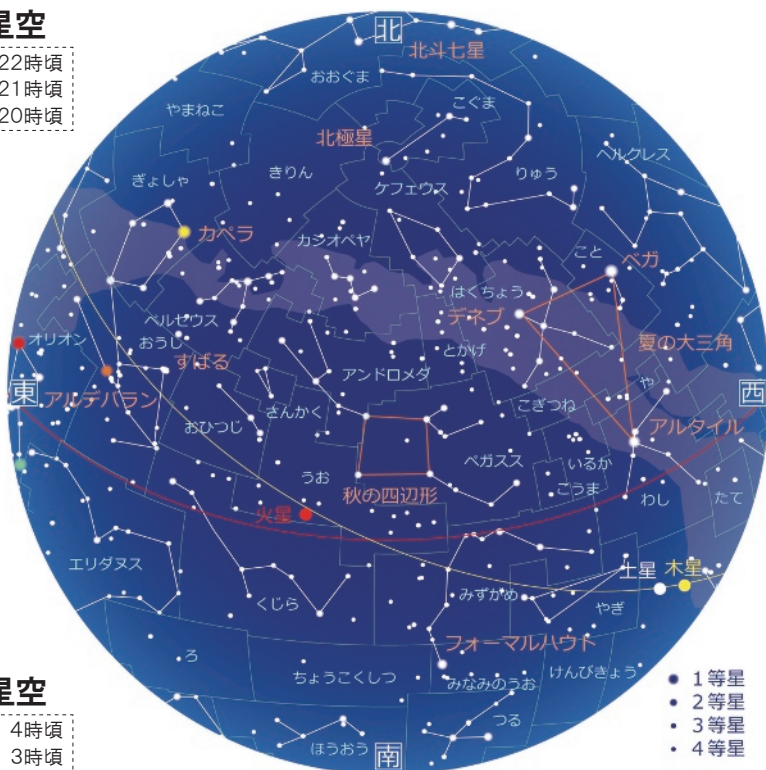


星空ガイド 10月16日～11月15日

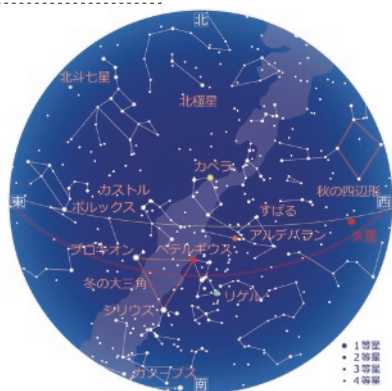
よいの星空

10月16日22時頃
11月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

10月16日 4時頃
11月1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

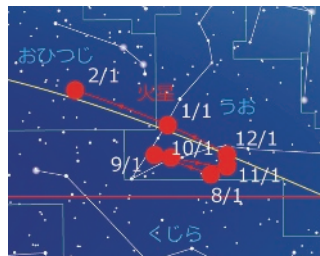
月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
10	16	金	6:04	17:22	4:58	17:16	28.7
	21	水	6:08	17:16	10:59	20:54	4.3
	26	月	6:12	17:10	14:52	0:54	9.3
11	1	日	6:18	17:04	17:37	6:30	15.3
	6	金	6:23	16:59	21:09	11:12	20.3
	11	水	6:27	16:55	1:25	14:37	25.3
	15	日	6:31	16:53	6:10	17:01	29.3

※惑星は2020年11月1日の位置です。

火星が見ごろ

10月6日に最接近した火星が見ごろとなっています。特に11月初めごろまでは、マイナス2等級という明るさで輝いており、今年一番の見ごろを迎えています。

火星は太陽のまわりを公転しているため、星座の中で位置を変えていきます。そのため何か月も観察すると、だんだんと星座の中を動く様子が分かります。



火星の位置

今年一番小さな満月

10月29日は後の月(十三夜)です。10月1日は中秋の名月(十五夜)でお月見の日でしたが、日本では1か月ほど後の十三夜の日にもお月見をする習慣があります。

ところで、この2日後の10月31日の満月は、今年一番小さく見える満月です。実は月と地球の距離は少し変化するため、見かけの大きさも変わります。今年一番大きく見えた満月は、4月8日の満月でした。昨年の一番小さかった満月と写真で比べて見ると、ずいぶん大きさが違うことが分かります。しかし夜空で見ただけではなかなか分かりません。



月の大きさ比較

今年はちょっと控えめな後の月ということになります。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
10	17	土	●新月(5時) 月が今年最近(356,900km)
	18	日	土星が東矩
	20	火	土用の入
	21	水	オリオン座流星群が極大のころ
	22	木	月と木星がならぶ
	23	金	●上弦(22時)/霜降(太陽黄経210°)/月と土星がならぶ
	26	月	水星が内合
	29	木	後の月
	31	土	○満月(24時) 月が今年最遠(406,400km)

月	日	曜	主な天文現象など
11	1	日	天王星が衝
	3	火	文化の日
	7	土	立冬(太陽黄経225°)
	8	日	●下弦(23時)
	11	水	水星が西方最大離角(明け方に見やすい)
	13	金	明け方に月と金星がならぶ
	14	土	月が最近(357,800km)/明け方の低空に月と水星がならぶ
	15	日	●新月(14時)

江越 航(科学館学芸員)